

●生活・法律相談は

◆市議会議員 高野 とも (7155) 1683
◆市議会議員 いぬい紳一郎 (7159) 2773
◆市議会議員 小田桐たかし (7154) 0878

◆市議会議員 安西 孝之 (7148) 6870
◆元市議会議員 若王子博夫 (7159) 0861
◆元市議会議員 せのお七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2003年7月

第138号

編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688
TEL/FAX (7157) 6140

「市政を変えたい」が市民の願い

日本共産党

いほこそ福祉を守る流山市へ



「国保介護の負担減らして」「6歳まで医療費無料化を」

この切実な願いにこたえます

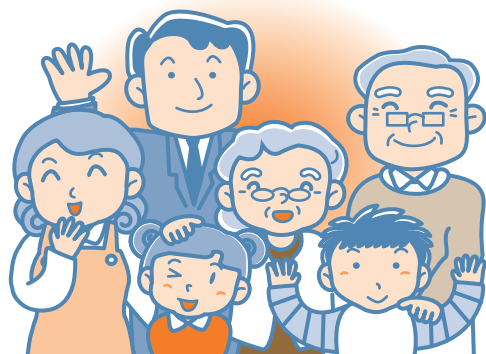
先のいつせい地方選挙では、市民の「市政を変えたい」という願いを受けて新しい市長が誕生。日本共産党の4人の市議団は、選挙中に寄せられた切実な願いを実現のため、税金の使い方の切りかえをと具体的に提案して全力をつくしています。

井崎新市長は、「財政がきびしい。財政再建が第一の仕事」と言いながら、財政危機の根本原因は市長の選挙公約でもあった「巨大開発の見直し」には言及せず、常磐新線沿線巨大開発

を軸としたまちづくりを継承すると表明。住基ネットも、公約とは異なり「接続の継続」の方向を打ち出しました。

財政再建のためには行財政改革の徹底が必要で、「すべての市民サービスを行政がやるのは不可能。民間活力導入を積極的にすすめる」と述べ、日本共産党が要求した市民の願いに対して、「全部で一〇億円もかかり到底無理」と退けました。

井崎新市長は、「財政がきびしい。財政再建が第一の仕事」と言いながら、財政危機の根本原因は市長の選挙公約でもあった「巨大開発の見直し」には言及せず、常磐新線沿線巨大開発



自衛隊を初めて海外に派兵

イラク派兵法反対！

日本共産党

.....

.....

市長の改憲発言

イラクに自衛隊を派遣するイラク派兵法を、自民・公明などが、短期間の国会審議で強引にすすめています。

大量破壊兵器の口実も失われ、ウソで固めたアメリカの侵略戦争を支持し、尻拭いに走る小泉内閣は、イラクの人々に銃口を向けようというのです。憲法違反のイラク派兵法は絶対許せません。

六月議会で市長は、「憲法前文と九条の改正を」と発言しました。憲法九条は議員・首長など公務員に對して「憲法尊重擁護」を義務づけています。憲法違反の改憲発言は許されません。

筆坂議員辞職 政治でも市民道徳でも、みなさんの信頼が得られるよう力をつくします。

筆坂前参院議員のセクハラ問題は、日本共産党として本当に申し訳ないことだと考えています。セクハラは、女性の尊厳と人格をふみにじる人権侵害です。次の二つの原則にたって対処してきたことをご理解いただきたいと思います。

1つは、社会的道徳、市民道徳を重視して対応してきたことです。それは日本共産党の規約にも明記しています。訴えが寄せられたときに、あいまいにせず事実関係を調査し、中央委員から罷免、議員辞職という処置を決め、自ら公表しました。

もう1つは、公表するにあたっては、被害を受けた女性の人権とプライバシーを守ることを何より重視したことです。細部にわたる事実の公表は、被害を受けた女性の特典につながり、重ねて精神的苦痛を与えることになりかねません。

30人学級
(5299筆) 請願小児救急医療制度
充実の意見書

市民の切実な願いに背を向ける

自民・保守派
公明、社民など

「小児救急医療の充実が市民みんなが願っているのに、意見書を否決した議員は何を考えているのか」——こんな怒りが、議会を傍聴した市民からあがっています。

日本共産党は、「教育基本法を守って」「30人学級実現を」の市民の願いにこたえてがんばりました。

	共産党	新世会	創成会	公明党	新志会	社民・市民連合
30人学級の実現を求める請願	○	×	×	×	×	×
教育基本法の『改正』に反対する請願	○	×	×	×	×	○
小児救急医療制度の充実・強化を求める意見書	○	×	○	×	×	×

国保、乳幼児医療、30人学級、住みよいまちづくりへ 公約実現でがんばります！

日本共産党の 新しい4議席

いつせいの地方選挙後はじめての流山市六月議会。日本共産党は、国保料の引き下げ、六歳までの医療費無料化、三〇人学級実現など（あわせて五億円で実現可能）切実な市民要求の実現を訴えました。九億円の入浴施設への批判が高まる中、新市長がどの立場に立つのかが問われています。

国保料引き下げと 保険証取り上げ中止を

高野とも議員



保証取り上げの中止を求めました。

「国保証を取り上げられて病院に行けない」「負担がたいへん」という声にこたえ、日本共産党は署名活動を行い、議会でも取り上げて、保険料引き下げや国

三〇人学級実現でどの子も 大切にされる学校教育を

いぬい紳一郎議員



いじめ、不登校が年々増え続け、子どもも親も心を痛めています。

そんな中で、一人ひとりの児童生徒に先生の手が届く少人数学級は、多くの市民の願いです。六月議会にも五〇〇〇をこす署名をそえて請願が提出されました。

日本共産党は、「教育条件の整備は教育行政の役割、教育委員会も小学校低年齢の少人数学級が必要としているのだから、予算編成権をもつ市長の基本姿勢がカギ」と質問しました。

市長からは、「四五〇〇万円かかる。財政が厳しい中では実現できない」と否定的な答弁が：子どもに冷たい姿勢が浮き彫りとなりました。



6歳までの医療費無料化を



小田桐たかし議員

を理由に「実施困難」と、ここでも子どもに冷たい姿勢でした。

少子化が深刻化し、大きな社会問題となっています。そんな中、乳幼児医療費無料化制度を六歳まで拡充する流れが、全国的に急速に広がっています。

市の実態調査や市議団が実施した市政アンケートでも「子どもの医療費がたいへん」「子育て支援に取り組んでほしい」との声が寄せられ

「制度拡充は待ったなし。現制度に約一億三千万円プラスすればすぐにできる」と迫りました。

市長は、「危機的財政」

4月の選挙で「何故九億円の入浴施設なのか」と、市民の批判が寄せられた地域融和施設。市長は就任早々の記者会見で見直しを表明しています。

9億円の入浴施設 は見直しを

に詰め寄る中で、日本共産党は、「市政を変える」と訴えて市長になった以上、前市長がすすめた計画の見直しは当然。削られた福祉・市民サービスと比べても、九億円のムダ使いは許されないと、選挙で示された民意に従い計画見直しをもとめました。

南柏駅にエスカレーター設置を 「柏市と連携していく」と答弁



安西孝之議員

柏市も「平成一七年度に実施したい」としていることから、「住民の願い実現に、市としてどうするのか」質問しました。

「西口東口にエスカレーターを早くつけて」、「西口駐輪場の整備を」。市議団が実施した駅アンケートに数多く寄せられた声です。

この間、エスカレーター



野々下福祉会館の
フェンス改修が終了

安西 孝之



守谷県道に道路照明が
つきました

小田桐たかし



南流山駅ホームの屋根
の延長を市が要請

いぬい紳一郎



江戸川台日光屋前の踏切
拡幅、実態調査を約束

高野 とも

身近な要求実現